

重点取組名	切り花ブランド産地の育成・強化
普及活動担当	松若 真由美（山武農林振興センター振興普及部改良普及課）
主要な活動地域・対象農業者	千葉県山武農林振興センター北部地域班・丸朝園芸農業協同組合花卉部 50名
取組結果・成果 〈取組みのねらい〉	<p>芝山町丸朝園芸農業協同組合花卉部を対象に、サンダーソニア、カラーなど球根切花の共販金額で高い全国シェアをもつ切り花ブランド産地の育成・強化を図る。</p> <p>1) 組織内研究会活動の啓発による情報の共有化と生産技術向上</p> <p>○新規導入品目の栽培技術確立</p> <p>既存品目の連作障害回避のため、輪作新規品目を平成16年に導入し技術定着を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年目のポンポン・ピンポンキク 生産者数16人→26人、販売金額・本数 74,093千円、900千本（前年比1.8倍）に増加し、新たな品目として定着した。</li> <li>・その他 ラナンキュラス、HBスターチス（シネンシス系）も増加。各品目ごとの研究会活動が活発化してきた。</li> </ul> <p>○連作できる土壌管理技術（土壌分析に基づく施肥と土壌還元消毒）の普及</p> <p>土壌分析に基づく施肥は、10名程度が定期的に行うようになり、適正施肥による肥培管理に関心が高まっている。土壌還元消毒の啓蒙を行ったところ、8名が取り組み、半数以上で効果が確認され、連作障害の解消手段のひとつとして定着しつつある。</p> <p>2) 組織を越えた情報共有化による産地競争力の強化</p> <p>○仲卸・小売店に対するプレゼンテーションや販売PR活動の能力向上</p> <p>産地としての競争力を持つために、品目や地域を越えた販売PR活動や生産技術交流、生産者同士の情報の共有化を支援。販売PR活動をとおして、参加した役員を中心に卸売市場から先の小売店・中卸などとの交流の必要性の認識が高まった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市場、仲卸、小売店へのプレゼンテーションの開催参加（ちば花と緑の生産者紹介）</li> </ul> <p>○地域で取り組む品目横断的防除の取り組み</p> <p>芝山町高田西部地区では、野菜・花き・畑作物の混在地域で部門組織を越えた地域防除（交信かく乱剤の導入、トラップによる発生予察等）に取り組んだ。オオタバコガなどの共通病害虫の被害低減が図られた。</p> <p>3) 女性農業者・青年農業者のパートナー意識の向上による経営発展</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性部ソニア会の役員を中心に、地域女性の集いの実行委員として参加し、他経営の女性との交流を図ることで、経営内での役割分担などを考える機会となった。</li> <li>・20～30代の青年後継者は、一般消費者向けプレゼンテーションに主体的に取り組む事を通じて、消費を意識した生産活動への関心を高めた。</li> <li>・山武を味わい語るつどいへ実行委員として参加</li> <li>・幕張フラワー&amp;ガーデンショー（一般消費者向けプレゼンテーション）への参加</li> </ul>
連携機関、協議会等	丸朝園芸農業協同組合、ちば花と緑の生産者紹介、海匠農林振興センター、香取農林振興センター
取組の特徴や取組に際しての工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の共有化ができる元気な花き生産者のネットワークの育成</li> <li>地域や部門を越えた生産者の交流の場づくり（イベント・勉強会）に積極的に取り組んだ。生産者同士の情報共有化が新たな知恵や元気を生み、生産技術改善や有利な販売展開を可能にした。</li> <li>・全国の花き流通販売関係者に情報発信する花き産地の育成</li> <li>価格低迷を打開するために、従来の規模拡大、新品目品種導入、周年出荷などの手法に加えて、流通販売関係者が応援団となり販路拡大や販売強化のアドバイスを得られる関係作りに取り組んだ。仲卸、小売店への生産ほ場の公開などの交流が新たな商品開発のヒントになるという認識が高まった。</li> <li>・広域的な普及活動の始まり</li> <li>地域や部門を越えて生産者を支援するために、隣接する農林振興センター（地域農業改良普及センター）が目的を共有し、連携をとった効率的な普及活動を行った。</li> </ul>
【参考】	丸朝園芸農協花卉部員数・栽培面積推移、主力品目の生産量、活動状況写真

### 花卉栽培者と面積の推移

	平成4年	平成8年	平成11年	平成15年	平成16年	平成17年
花卉栽培者数	14名	32	38	41	47	50
面積 (a)	100	900	1,500	1,800	2,000	2,115

### 平成17年栽培品目実績

品目	栽培面積 (a)	販売数量 (千本)
サンダーソニア	830	3,377
カラー	980	3,287
リュウココリーネ	105	1,694
菊 (ポンポンマム他)	200	900
その他		2,691
合計	2,115	11,949



花屋さん「花のPR」  
花の使い方検討会



仲卸さんとの花の流通を考える  
研修会



生産者の土壌管理研修会